

平成 28 年度卒業時アンケート調査

合志 和晃

Kazuaki GOSHI

九州産業大学 理工学部 情報科学科

Faculty of Science and Engineering, Kyusyu Sangyo University
goshi@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~goshi>

1. はじめに

カリキュラム全般及び学習環境・設備改善の方策として、平成 17 年度以来後期に卒業予定者を対象とした無記名アンケート調査を実施してきた。本稿では平成 28 年度の実施内容と結果の概要を報告する。

2. 方法

2.1 調査項目

本調査では Web 上に作成した無記名アンケートを用いた。アンケートの回答期間は平成 28 年 1 月 16 日(月)から 2 月 8 日(水)までとした。調査対象は平成 28 年度卒業予定者 137 名であった。

2.2 調査項目

調査の対象として取り上げた項目は以下の通りである。なお、具体的な質問内容と回答選択肢は付録 1 に示す。

- ・ 授業科目全般に関する平均的評価
 - 専門科目の難易度
 - 専門科目の満足度
 - 基礎教育科目の難易度
 - 基礎教育科目の満足度
 - 外国語科目の難易度
 - 外国語科目の満足度
 - 教育内容全体の満足度
 - 卒業研究の指導に対する満足度
- ・ 各授業科目について
 - 興味が持てた科目
 - 興味が持てなかった科目
 - よく理解できた科目
 - よく理解できなかった科目
 - 将来役に立つと考えられる科目
 - 将来役に立たないと考えられる科目

3. 結果

回答数は 124 名、回答率は 90.5%であった。集計結果(図 1, 図 2)の全般において、例年と概ね同様の傾

向が見られた。以下では、調査の大項目ごとに結果を紹介する。

3.1 授業科目全般に関する平均的評価

専門科目、基礎教育科目、及び外国語科目の難易度を図 1 に示す。昨年度、専門科目と外国語科目の「難解」がそれ以前の 10%以下を超えて 13%であったが今年は 10%以下に戻っている。

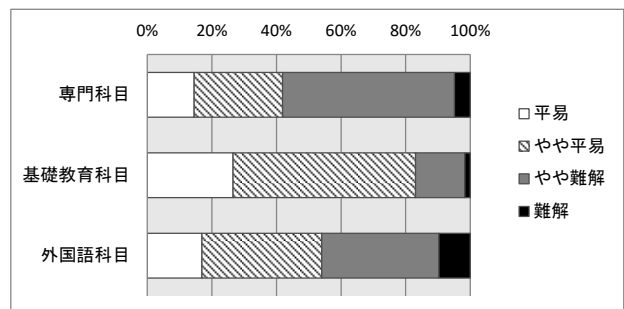


図 1 講義の難易度

専門科目、基礎教育科目、外国語科目、教育内容全般、及び卒業研究の指導についての満足度を図 2 に示す。

「満足」と「まあ満足」が、専門科目では 83.0%、基礎教育科目では 77.4%、教育内容全般では 87.9%を占めており、「まあ満足」が最も多かった。卒業研究の満足度は例年通り高い水準を維持しており、「満足」が最も多かった。卒業研究について「やや不満」と「不満」の理由としては次のような回答があった。卒業研究の補助ができる大学院生の学生数の増加が望まれる。

- ・補助してくれる教員が少ない
- ・補助教員がおらず、技術面でのサポートがいなかったため大変だった。
- ・実験を進めるのに細かい手順に困っていても、自分で手当たり次第予想でやるしかなかった

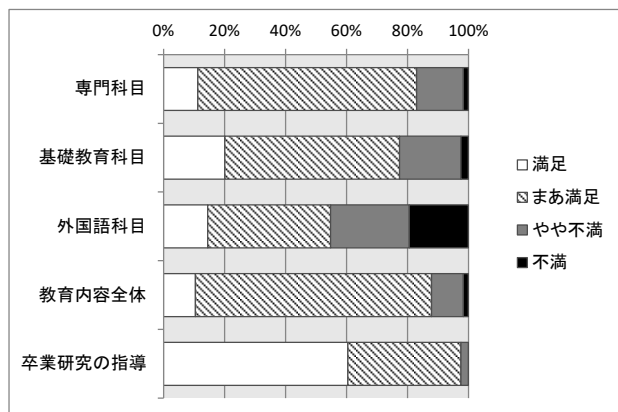


図 2 講義の満足度

3.2 各授業科目について

表 B.1 に示す科目から、「興味ももてた／もてなかつた科目」、「よく理解できた／できなかつた科目」、「将来役に立つ／立たないと思う科目」を選んでもらった。

この集計結果を図 B.1～図 B.2 に示す。

「卒業研究」は、三つの評価項目の全てにおいて全科目の中で最も高い評価を得た。

3.3 学習環境・設備について

ゼミナール室などの学習環境及びコンピュータ・ネットワーク環境全般に関する満足度を図 3 に示す。コンピュータ・ネットワーク環境については、前年度より満足度の約 50%から大幅に減っているが、まあ満足も含めると、いずれの項目についても満足度は高かった。

「やや不満」と「不満」の理由としては、空調の効き、研究室内の PC の台数や動作や機種、貸与 PC の速度や故障、無線 LAN 環境の不具合についての自由記述があった。

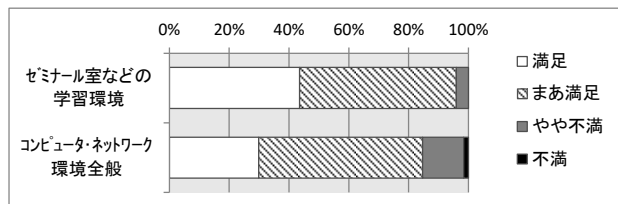


図 3 学習環境・設備の満足度

「環境・設備面で気に入っている／気に入っていないところ」の集計結果を図 4 に示す。

「サポートセンター内の PC 一時保管用ロッカー」と

「学生証による出席調査システム」を除く全ての環境・設備について「気に入っている」が「気に入っていない」を回答数で上回った。

これらの項目は多少の不都合を感じさせることはあっても概ね好評を得ていることがうかがえる。

「気に入っている」が最も多かったのは「貸与 PC」で、これに「ネットワーク」などが続くという結果になった。

一方、「気に入っていない」が最も多かったのは「学生証による出席調査システム」であった。

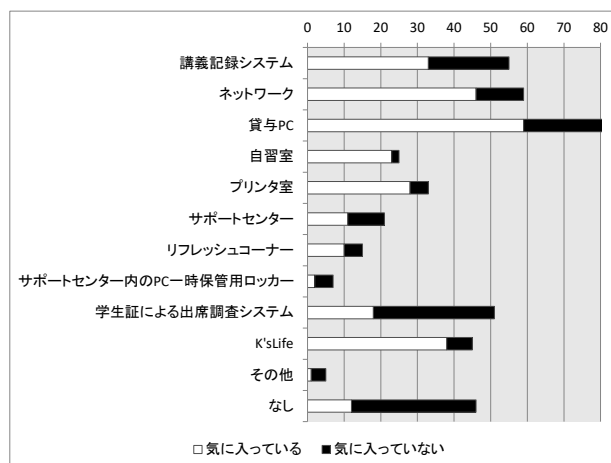


図 4 環境・設備面で気に入っている／気に入っていないところ(単位は人)

講義記録システムの利用目的に関する集計結果を図 5 に示す。

復習、欠席した回の自習、レポート課題の確認、及び試験勉強という回答が多く、主に講義後の学習に利用されていることが分かる。その他の利用目的としては卒論発表の視聴が数件あった。

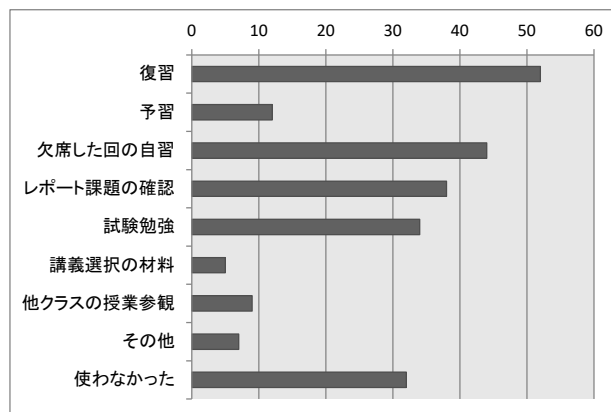


図 5 講義記録システムの利用目的(単位は人)

3.4 その他

(1) 学習支援

オフィスアワー制度、資格取得のサポート、及び学習支援室のサポートに関する満足度を図6に示す。

いずれの項目についても「満足」と「まあ満足」が6割程度を占めた。

オフィスアワーを利用しなかった理由としては、必要なかったという回答が23件と多く、他には、時間が合わない、行きにくい、知らなかった、行くのが面倒といった回答がそれぞれ2件程度あった。

資格取得のサポートを利用しなかった理由としては、資格取得の予定がなかったという回答が13件と多く、続いて必要なかったが8件、時間が合わなかったが7件であり、他には、独学した、知らなかった、興味なしといった回答がそれぞれ3件程度あった。

学習支援室のサポートを利用しなかった利用としては、必要なかったという回答が11件と多く、知らなかったの10件が続いた。他には、機会がなかったが4件、行くのが面倒と時間が合わなかったがそれぞれ1件あった。

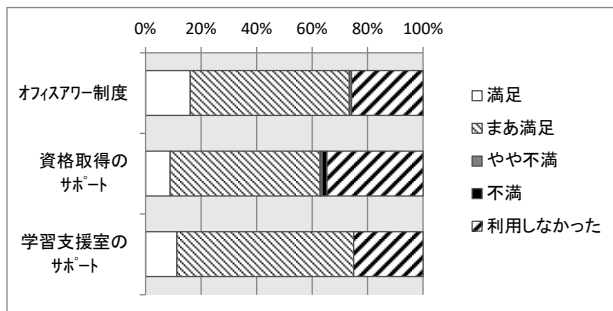


図6 学習支援の満足度

立たなかった」「全く役立たなかった」の理由としては、内容が良くなかったが5件、あまり利用しなかったが3件、対応が良くなかったと自分で活動したという回答がそれぞれ2件あった。また、「指導を受けなかった」の理由としては、必要なかったという回答と内容が良くなかったという回答がそれぞれ5件、自分で活動したという回答が2件、他に、知らなかった、対応が良くなかった、遠かったという回答がそれぞれ1件あった。

情報科学部のキャリア支援センター運営委員の進路指導について「あまり役立たなかった」「全く役立たなかった」の理由としては、利用していないが5件、他を利用したと情報が得られなかったがそれぞれ1件あった。また、「指導を受けなかった」の理由としては、知らなかったが7件と多く、必要がなかったが4件、機会がなかったが3件、自分で活動したが2件、内容が良くなかったが1件であった。

卒業研究指導教員の進路指導について「あまり役立たなかった」「全く役立たなかった」の理由としては、自分で活動したが2件であった。また、「指導を受けなかった」の理由としては、自分で活動したが2件、知らなかったとわからないがそれぞれ1件あった。

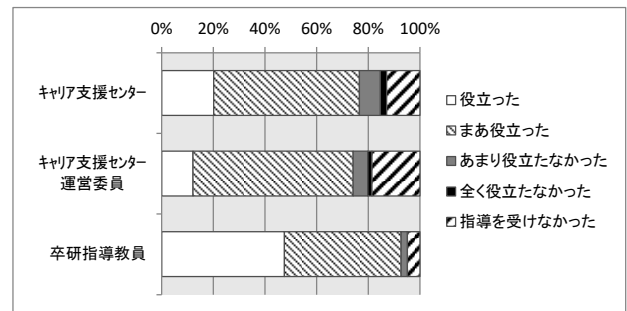


図7 進路指導の有効性

(2) 進路指導

キャリア支援センター、情報科学部のキャリア支援センター運営委員、卒業研究指導教員のそれぞれによる進路指導の有効性に対する評価を図7に示す。

キャリア支援センターや情報科学部のキャリア支援センター運営委員による指導について「役立った」と「まあ役だった」は7割程度であった。

また、卒業研究指導教員による指導について「役立った」と「まあ役だった」は9割程度であった。

いずれの項目についても評価は高かったと言える。

キャリア支援センターの進路指導について「あまり役

(3) 情報科学部をより良くするための意見

情報科学部をより良くするための意見としては次のような回答があった。

教育体制, 教育内容について

- 編入の学生にももう少し親切に
- 困ったとき個人相談するところ
- 就活をもっと積極的に大学からやらせるべきだ。
- 英語会話は少しづらい、当たりはずれが多い。

- もっと難易度を上げるとよりよくなると思う。
- プログラミングできる人とできない人との差が激しいのでそこを何とか埋めたいと思う
- 教授がより学生と向き合ってケアをしていくべきだと思う。
- 破綻している授業がある。他の先生に変わっていただきたい。

コンピュータ, ネットワーク環境について

- 貸与 PC のスペックを上げる (6 件)
- 無線 LAN 環境を安定させる
- LAN の点検(リフレッシュコーナーや自習室など)
- 講義記録システムを複数のブラウザに対応
- この Web ページの「チェックボックス」や「ラジオボタン」にラベルをつけてくれると回答しやすかったです。

施設, 設備について

- 空調や換気の改善(5 件)
- トイレにウォシュレット(4 件)
- トイレにハンドドライヤー(2 件)
- 12 号館内に売店を(2 件)
- サポートセンターの対応の改善(2 件)
- 自習室の整備(昼休みに昼食をとる場所, 友達と暇をつぶす場所となっている)
- 教室の有効活用

4. まとめ

本稿では, 平成 27 年度卒業予定者を対象として実施した, カリキュラム全般及び学習環境・設備に関する調査結果を報告した。授業科目全般の難易度と満足度に関する評価は良好であった。また, 学習環境・設備に関する満足度は高い評価を得た。個々の授業科目や学習環境・設備についての評価データは, 今後の改善に役立てることができる。

◇ 付録 ◇

A.平成 28 年度情報科学部卒業時アンケート

実際に調査に用いた質問紙の内容を示す。[理由]

ないし[記述]が付された選択肢には自由記述欄が付随する。また, 「(2) 各授業科目について」において調査対象とした科目の一覧を表 B.1 に示す。

I. 授業科目全般について

- 専門科目の講義の難易度を平均的に見ると
平易 やや平易 やや難解 難解
- 専門科目の講義方法を平均的に見ると
満足 まあ満足 やや不満 不満
- 基礎教育科目の講義の難易度を平均的に見ると
平易 やや平易 やや難解 難解
- 基礎教育科目の講義方法を平均的に見ると
満足 まあ満足 やや不満 不満
- 外国語科目の講義の難易度を平均的に見ると
平易 やや平易 やや難解 難解
- 外国語科目の講義方法を平均的に見ると
満足 まあ満足 やや不満 不満
- 教育内容全体を平均的に見ると
満足 まあ満足 やや不満 不満
- 卒業研究の指導については
満足 まあ満足 やや不満[理由] 不満[理由]
理由:

II. 各授業科目について

- 興味をもてた科目は(複数回答) 基礎ゼミナール(情報科学基礎演習 I) 数学基礎演習 情報科学序説 離散数学 I (集合論) 線形代数 I 情報リテラシー 情報リテラシー演習 基礎ゼミナール(情報科学基礎演習 II) グラフ理論 プログラミング基礎 計算機アーキテクチャ 線形代数 II 微分積分 I 物理学 物理学演習 ソフトウェア演習 データ構造とアルゴリズム I 計算機システム 情報回路 I 情報理論・確率論 離散数学 II (代数系) 現代自然科学 日本語表現法 微分積分 II 情報システム特講 A 情報システム特講 B データ構造とアルゴリズム II 情報回路 II 情報回路実験 I 数理論理学 統計学 認知科学 工学的センスの基礎 微分方程式 ソフトウェア工学 医療情報システム論 感性科学 金融システム論 交通システム論 工業デザイン 自然言語処理 情報システムプロジェクト管理 信号処理 アルゴリズム論 I オブジェクト指向設計 オペレーティングシステム コンピュータネットワーク デ

データベース データ構造とアルゴリズムⅢ 計画数学 情報回路Ⅲ 情報回路実験Ⅱ Web プログラミング演習 グラフィックスプログラミング演習 ゲームプログラミング演習 情報技術者倫理 インターンシップ プロジェクトベース設計演習(エンジニアリングエコノミー) 安全科学 位相幾何学 数理統計学 微分幾何学 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ インターネット工学 ヒューマンインタフェース マルチメディア モバイルコンピューティング 音声・画像/処理・理解 経営情報学 社会情報学(特許/知的所有権) 情報セキュリティ 組み込みシステム/VLSI 工学 並列処理と分散処理 流通システム論 アルゴリズム論Ⅱ コンピュータグラフィックス基礎 プログラミング言語とコンパイラ 計算モデル論 知能情報システム論 計画と管理 初等幾何学 情報と職業 コンピュータグラフィックス応用 卒業研究 その他[記述]

b. 興味をもてなかった科目は(複数回答):前問と同じ選択肢

c. よく理解できた科目は(複数回答):前問と同じ選択肢

d. よく理解できなかった科目は(複数回答):前問と同じ選択肢

e. 将来役に立つと考えられる科目は(複数回答):前問と同じ選択肢

f. 将来役に立たないと考えられる科目は(複数回答):前問と同じ選択肢

Ⅲ. 学習環境・設備について

a. ゼミナール室などの学習環境について

満足 まあ満足 やや不満[理由] 不満[理由]

b. コンピュータ・ネットワーク環境全般について

満足 まあ満足 やや不満[理由] 不満[理由]

c. 環境面・設備面で気に入っているところは(複数回答)

講義記録システム ネットワーク 貸与 PC 自習室 プリンタ室 サポートセンター リフレッシュコーナー サポートセンター内のPC 一時保管用ロッカー 学生証による出席調査システム K'sLife その他[記述] なし

d. 環境面・設備面で気に入っていないところは(複数回答):前問と同じ選択肢

e. 講義記録システムをどのような目的で利用しましたか(複数回答)

復習 予習 欠席した回の自習 レポート課題の確認 試験勉強 講義選択の材料 他クラスの授業参観 その他[記述] 使わなかった

Ⅳ. その他

a. オフィスアワー制度(特定の時間に学生からの質問への対応のために、教員が研究室に待機している制度)について

満足 まあ満足 やや不満[理由] 不満[理由] 利用しなかった[理由]

b. 資格取得のサポートについて

満足 まあ満足 やや不満[理由] 不満[理由] 利用しなかった[理由]

c. 学習支援室(3階実験室等を利用した助手による学習支援)のサポートについて

満足 まあ満足 やや不満[理由] 不満[理由] 利用しなかった[理由]

d. キャリア支援センターの進路指導は役立ちましたか
役立った まあ役立った あまり役立たなかった[理由] 全く役立たなかった[理由] 指導を受けなかった[理由]

e. 情報科学部キャリア支援センター運営委員(就職担当の教員)の進路指導は役立ちましたか

役立った まあ役立った あまり役立たなかった[理由] 全く役立たなかった[理由] 指導を受けなかった[理由]

f. 卒業研究指導教員の進路指導は役立ちましたか

役立った まあ役立った あまり役立たなかった[理由] 全く役立たなかった[理由] 指導を受けなかった[理由]

g. 情報科学部をより良くするための意見がありましたら、自由に書いてください。

表 B.1 調査対象科目

基礎ゼミナール(情報科学基礎演習Ⅰ)
数学基礎演習
情報科学序説
離散数学Ⅰ(集合論)
線形代数Ⅰ
情報リテラシー
情報リテラシー演習
基礎ゼミナール(情報科学基礎演習Ⅱ)
グラフ理論
プログラミング基礎
計算機アーキテクチャ
線形代数Ⅱ
微分積分Ⅰ
物理学
物理学演習
ソフトウェア演習
データ構造とアルゴリズムⅠ
計算機システム
情報回路Ⅰ
情報理論・確率論
離散数学Ⅱ(代数系)
現代自然科学
日本語表現法
微分積分Ⅱ
情報システム特講A
情報システム特講B
データ構造とアルゴリズムⅡ
情報回路Ⅱ
情報回路実験Ⅰ
数理論理学
統計学
認知科学
工学的センスの基礎
微分方程式
ソフトウェア工学
医療情報システム論
感性科学
金融システム論
交通システム論
工業デザイン
自然言語処理
情報システムプロジェクト管理
信号処理
アルゴリズム論Ⅰ
オブジェクト指向設計
オペレーティングシステム
コンピュータネットワーク
データベース
データ構造とアルゴリズムⅢ
計画数学
情報回路Ⅲ
情報回路実験Ⅱ
Webプログラミング演習
グラフィックスプログラミング演習
ゲームプログラミング演習
情報技術者倫理
インターンシップ
プロジェクトベース設計演習(エンジニアリングエコノミー)
安全科学
位相幾何学
数理統計学
微分幾何学
情報科学演習Ⅰ
情報科学演習Ⅱ
インターネット工学
ヒューマンインタフェース
マルチメディア
モバイルコンピューティング
音声・画像/処理・理解
経営情報学
社会情報学(特許/知的所有権)
情報セキュリティ
組込みシステム/VLSI工学
並列処理と分散処理
流通システム論
アルゴリズム論Ⅱ
コンピュータグラフィックス基礎
プログラミング言語とコンパイラ
計算モデル論
知能情報システム論
計画と管理
初等幾何学
情報と職業
コンピュータグラフィックス応用
卒業研究

B.科目別評価結果

調査項目の「(2)各授業科目について」に関する集計結果を図 B.1~図 B.3 に示す。

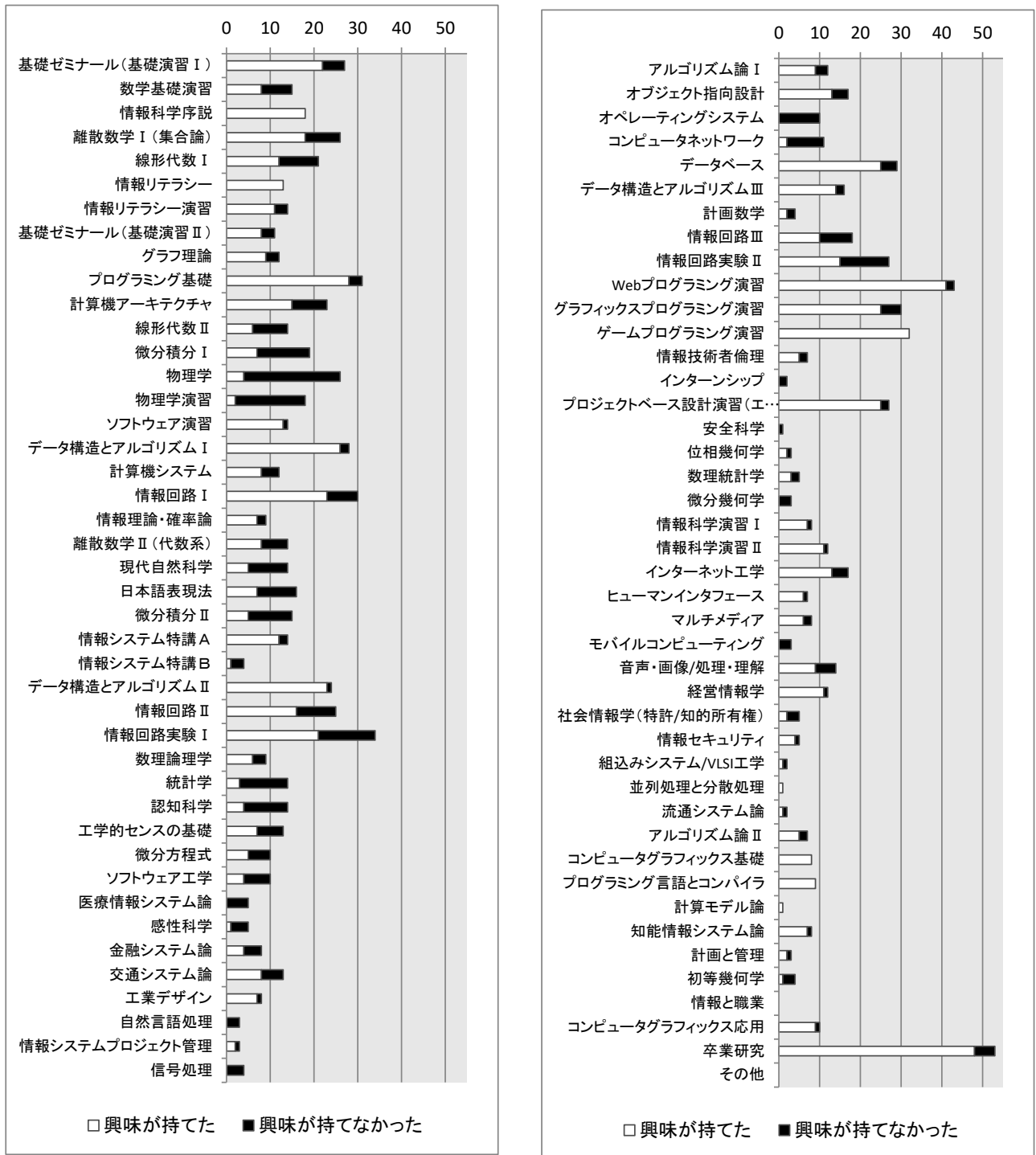


図 B.1 興味を持てた／興味を持てなかった科目(単位は人)

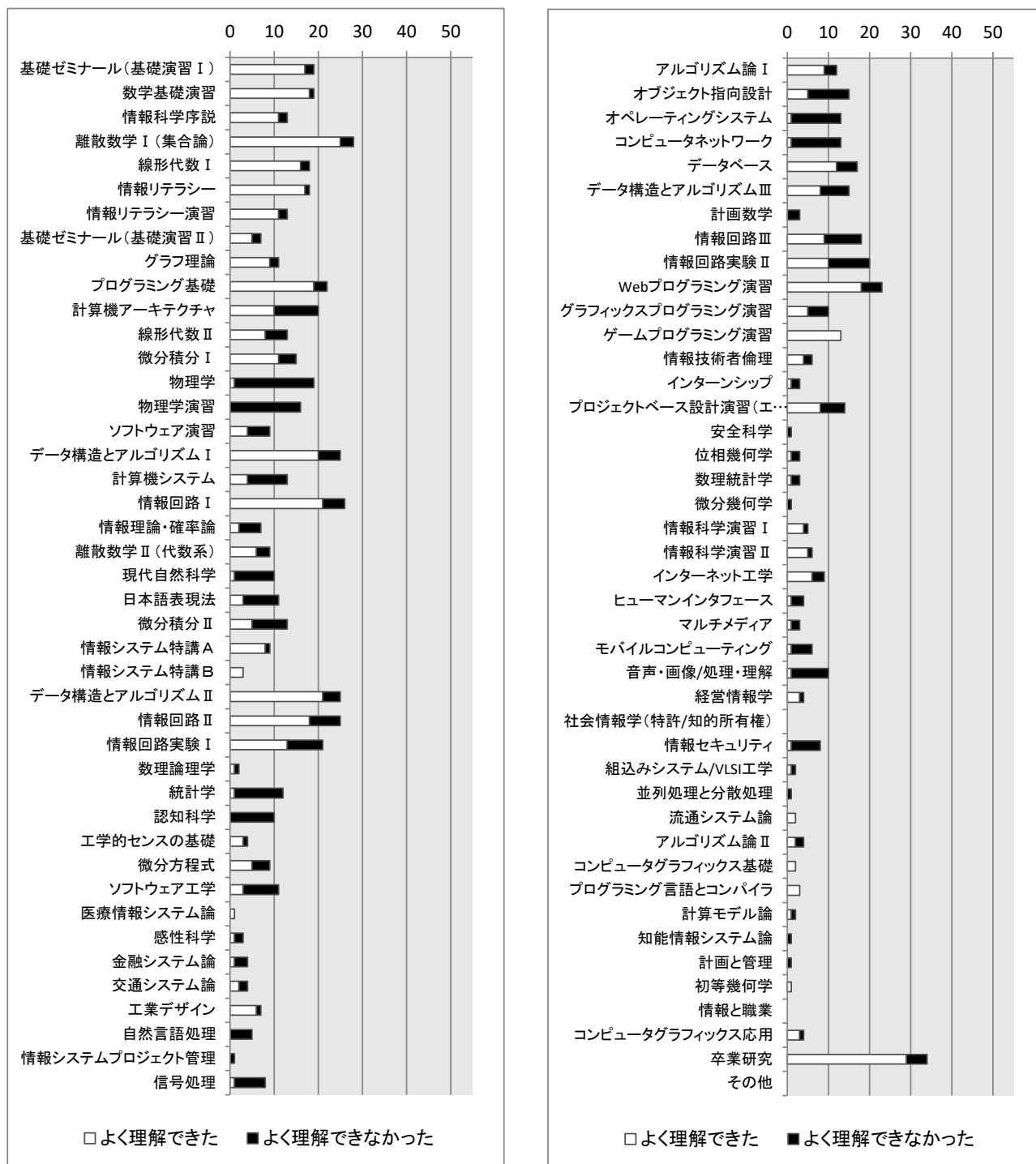


図 B.2 よく理解ができた/よく理解できなかった科目(単位は人)

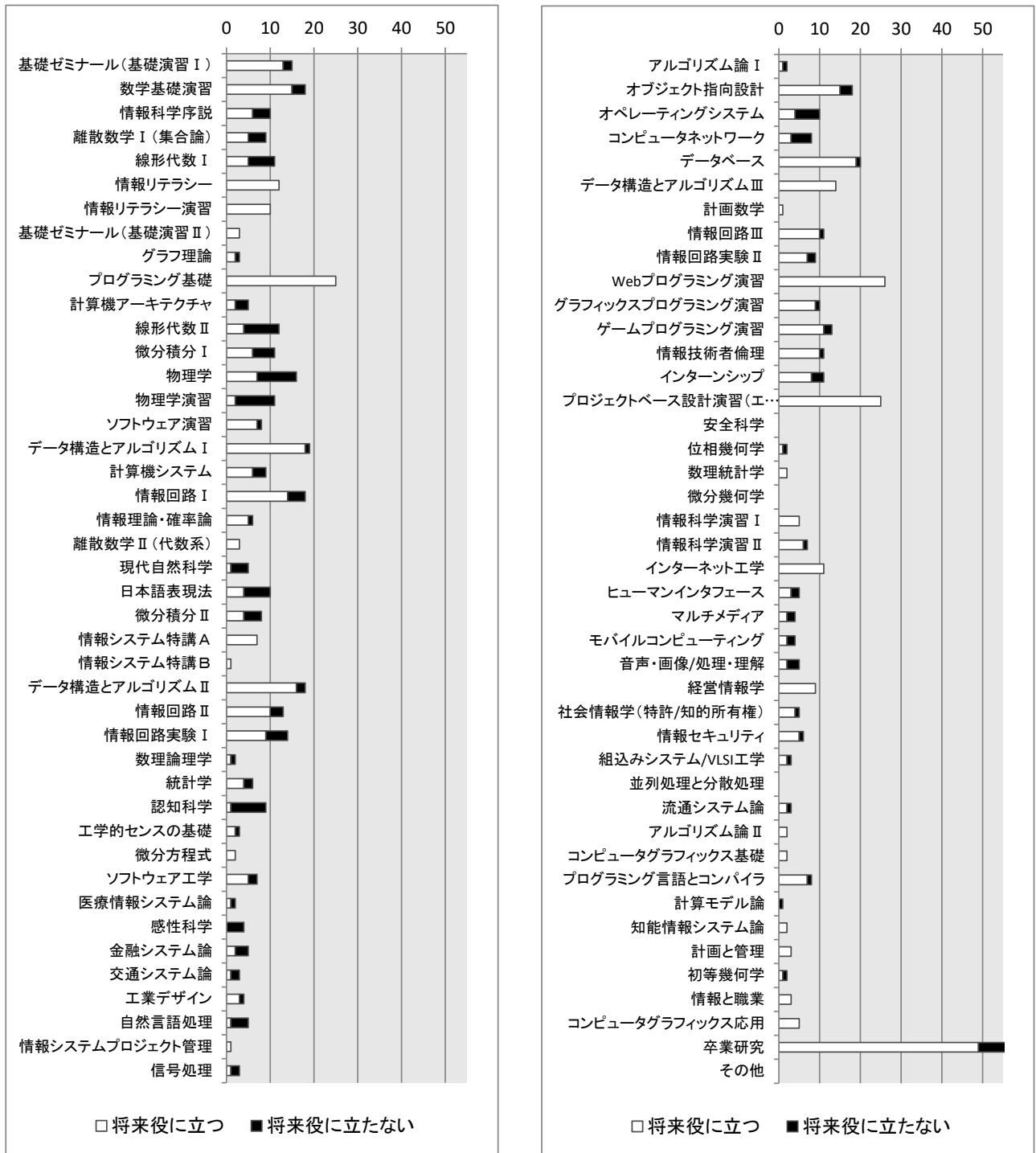


図 B.3 将来役に立つ／将来役に立たないと考えられる科目(単位は人)